

問1 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 平等院鳳凰堂 4. 延暦寺

問2 7世紀中頃の東アジア情勢において、唐と新羅の連合軍に攻められた百済を救援するため、日本が朝鮮半島へ大軍を派遣して戦い、大敗した出来事を何というか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 白村江の戦い 2. 文永の役 3. 刀伊の入寇 4. 元寇

問3 奈良県にある、金堂や五重塔を備えた現存する世界最古の木造建築物として知られる法隆寺を建立し、仏教を基盤とした飛鳥文化を象徴する人物として最も適切な人物は誰ですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 聖徳太子 2. 天武天皇 3. 聖武天皇 4. 藤原道長

問4 日本の古代国家の成立期において、現在の奈良県に相当する内陸部に置かれた「藤原京」の歴史的背景を説明したものととして、最も適切なものを選んでください。この地域は、西に大阪湾、東に伊勢湾、北に琵琶湖を臨む近畿地方の中心部に位置しています。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 大宝律令の制定によって律令国家の仕組みが整えられた時期の都であり、本格的な官僚機構を備えていた。
2. 仏教による国家の安定を目指し、東大寺の建立や国分寺の設置が全国的に進められた時期の都である。
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、国防のために内陸部のより安全な場所へ急速移転された宮殿である。
4. 摂関政治の全盛期にあたり、貴族たちが豪華な邸宅を構えて国風文化を育んだ政治的拠点である。

問5 聖徳太子が定めた十七条の憲法の目的や内容について、当時の時代背景を踏まえて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2023年 岐阜公立入試 類似）

1. 仏教や儒教の教えを役人の道德的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。
2. 唐の律令制度をそのまま導入し、土地や人民を国家が直接支配する公地公民の原則を確立した。
3. 武士の間で起こる領地争いを公平に裁くため、日本で初めての武家独自の裁判基準を示した。
4. 身分に関わらず才能のある人物を役人に登用するため、位階によって帽子の色を分ける制度を整えた。

問6 法隆寺の建築に見られる特徴や背景について説明したものととして、歴史的事実に基づき最も適切な記述を選んでください。

（2024年 愛媛公立入試 類似）

1. 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。
2. 平安時代の貴族たちが好んだ日本独自の様式である「寝殿造」を取り入れ、庭園との調和を重視している。
3. 鎌倉時代に武士の間で流行した禅宗の影響を受け、装飾を排した質実剛健な造りとなっている。
4. 室町時代の文化背景をもとに、現代の和風建築の原型となった「書院造」の様式で建てられている。

問7 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。
2. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。
3. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。
4. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。

問8 聖徳太子が建立した法隆寺に代表される、日本で最初の本格的な仏教文化について、その名称として正しいものを選びなさい。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 飛鳥文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

問9 7世紀初めの607年、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸皇子）は、小野妹子らを中国へ派遣しました。大陸の優れた制度や文化を直接取り入れるために送られた、この使節の名称を答えなさい。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 遣隋使 2. 遣唐使 3. 遣新羅使 4. 遣渤海使

答え合わせ・解説

問1	答え 1 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問2	答え 1 白村江の戦い	663年に朝鮮半島の白村江で行われた、日本（倭）・百済遺民連合軍と、唐・新羅連合軍による戦いです。この戦いで大敗した日本は、唐や新羅による日本本土への侵攻を恐れ、九州に水城を築いたり、防人を配置したりして国防を強化するとともに、都を近江の大津宮へ移すなどの対応を迫られました。
問3	答え 1 聖徳太子	飛鳥時代において仏教を深く崇敬し、厚く保護したことで知られています。建立された法隆寺は、当時の優れた建築技術を今に伝えるだけでなく、大陸から伝わった仏教の教えに基づき、国を治めようとしたこの人物の政治理念を反映した歴史的建造物です。
問4	答え 1 大宝律令の制定によって律令国家の仕組みが整えられた時期の都であり、本格的な官僚機構を備えていた。	藤原京の時代は、まさに「律令国家」の完成期にあたります。701年に大宝律令が制定され、天皇を中心とした中央集権的な統治制度が確立されました。藤原京はそのような複雑な行政組織を収容するために、日本で初めて本格的な条坊制（碁盤の目状の区画）を採用した都として建設されました。他の選択肢は、平城京（聖武天皇）、飛鳥時代の防衛、または平安京の記述であり、時代背景が異なります。
問5	答え 1 仏教や儒教の教えを役人の道徳的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。	十七条の憲法は、法的な罰則よりも役人が守るべき精神的な規範に重点が置かれています。「和を以て貴しとなす」という言葉に代表されるように、豪族同士の争いを戒め、仏教や儒教の教えを通じて天皇への忠誠を促すことで、中央集権的な国家を築こうとする意図がありました。
問6	答え 1 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、仏教の伝来とともに、中国（南北朝時代や隋）や朝鮮半島の百済などの技術が積極的に導入された時期です。法隆寺の柱に見られる「エンタシス（中央のふくらみ）」などの特徴は、遠くギリシャの神殿建築の影響がシルクロードを経て伝わったものと言われており、当時の国際色豊かな文化背景を示しています。寝殿造や書院造は、より後世の時代に成立した建築様式です。
問7	答え 2 それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。	律令国家における「公地公民」の原則と、明治新政府による「版籍奉還」や「廃藩置県」は、どちらも土地と人民の支配権を中央へ集中させることを目的とした政策です。古代では豪族、近代では大名という、それまでの地方支配者の権利を否定し、中央政府が直接的に国民を統治し、税を徴収する仕組み（中央集権体制）を整えようとした点が共通しています。
問8	答え 1 飛鳥文化	7世紀前半、聖徳太子が政治を執り行った時代を中心に栄えた文化を飛鳥文化と呼びます。法隆寺の建築や仏像などには、中国の南北朝時代の文化や、さらに西方のインドやギリシャの影響も見取ることができます。
問9	答え 1 遣隋使	聖徳太子は、中国を統一した隋に対して小野妹子らを派遣しました。それまでの朝鮮半島を経由した交流だけでなく、中国と直接交渉を持つことで、先進的な仏教文化や政治制度を効率的に導入しようと試みました。これにより、冠位十二階や十七条の憲法といった、天皇を中心とする国づくりのための改革が進められることとなりました。